

黄教授らに出版会賞

県産
リンゴ

多角的検討を評価

弘大

弘前大学出版会(足
達兼編集長)は4日、

弘大附属図書館で第7

回弘前大学出版会賞表

彰式を行い、「りんご

をアップルとは呼ばせ

ない、津軽りんご人た

ちが語る日本農業の底

力」の著者で、同大人

文社会科学部の黄孝春

教授と、日本体育大学

児童スポーツ教育学部

非常勤講師の平本和博

さん(東京都)に表彰

盾を贈った。

選考対象は2013

年1月から15年12月ま

でに同会から出版され



弘大出版会賞を受賞した黄教授
(左)と平本さん

た21冊で、同大教員や
理事らで構成する選考
委員16人が審査し、受
賞作品を決めた。

「りんごをー」は品

種改良、栽培、流通、

輸出と加工、サポータ

リングの5分野に焦点

を当て、青森リンゴの

強さの秘密や産地が抱

える問題点などを多方

面から検討。3年半か

けて津軽地方のリンゴ

産業関係者に聞き取

り取材をしてまとめ

た。

黄教授は「特に県外

の人に多く読んで

らって、青森県のリン
ゴの良さを知っても

らい、それが消費拡大

に結び付くことを願

う」、平本さんは「活

字が低迷する中、評価

してもらいうれしく思
う」とそれぞれ述べ

(石田紅子)

※この記事は陸奥新報社の提供です。

[問合せ先]弘前大学出版会

hupress@hirosaki-u.ac.jp

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の
記事利用を許諾したものです。転載ならびに
このページへのリンクは固くお断りします。